



熊本香港事務所
宮原 智彦

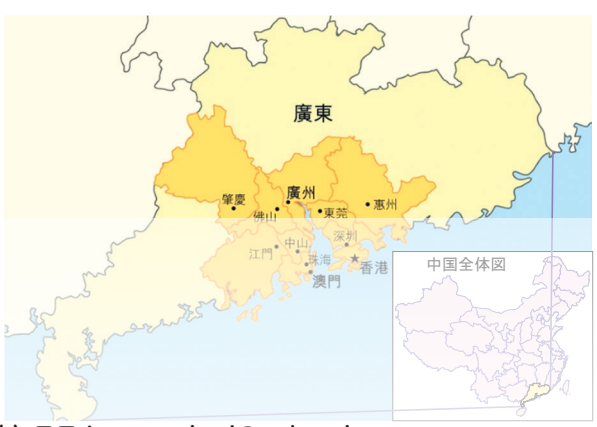
広東・香港・マカオ大湾区発展計画について ～世界有数のベイエリアを目指して～

2023年9月の香港だよりで触れましたが、中国の広東省、香港、マカオの3地域を統合し、広東・香港・マカオ大湾区（グレーター・ベイ・エリア）として2035年を目標に世界有数のベイエリアとして発展させる構想が進んでいます。その広東・香港・マカオ大湾区発展計画について、今回、次回の2回に渡りご紹介いたします。

■ 広東・香港・マカオ大湾区発展計画とは

2015年に中国中央政府が「一帯一路推進ビジョン」の中で初めて大湾区構想が明記されました。その後2017年に中央政府主導の下、香港・マカオ、広東省の各政府により「広東・香港・マカオ大湾区建設の協力枠組協定」が締結され、さらに2019年に「広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要」が発表され構想が大きく動き出しました。

同計画は、香港、マカオの2つの特別行政区と広東省の広州、深圳の4都市を中心都市、^{とんがん} 佛山、東莞、惠州、中山、江門、珠海、肇慶を重要接点都市とし、統合した地域発展計画で、東京、ニューヨーク、サンフランシスコのいわゆる世界三大ベイエリアに匹敵する地域を作り、さらなる中国経済の発展を促進させる目的を持つものです。



以降は会員専用ページにて公開しております。

■ 広東・香港・マカオ大湾区各都市の役割と計画の取り組みについて

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

- ①香港：国際貿易センター、金融・貿易センター、国際航空ハブ
- ②マカオ：旅行・エンターテインメント・カジノの貿易、マルチ文化交流センター
- ③広州：国際貿易センター、総合交通ハブ、国際大都市の建設
- ④深圳：イノベーション技術開発センター

アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)